

北海道

Hokkaido Tourism Organization

観光レポート

2024年

令和6年3月25日発行

春号



2023年11～12月の外国人延べ宿泊者数は、
コロナ禍後、初めて2019年同月実績を上回った

トピックス

「さっぽろ圏e旅ギフト」の発行を開始

～北海道初!さっぽろ圏11市町村で「旅先納税[®]」を導入し、共通返礼品として電子商品券を発行～

新しいCI(コーポレートアイデンティティ)を制定

～HTO の取り組みを皆さまにわかりやすく発信していきます～

HOKKAIDO LOVE!



北海道の延べ宿泊者数実績

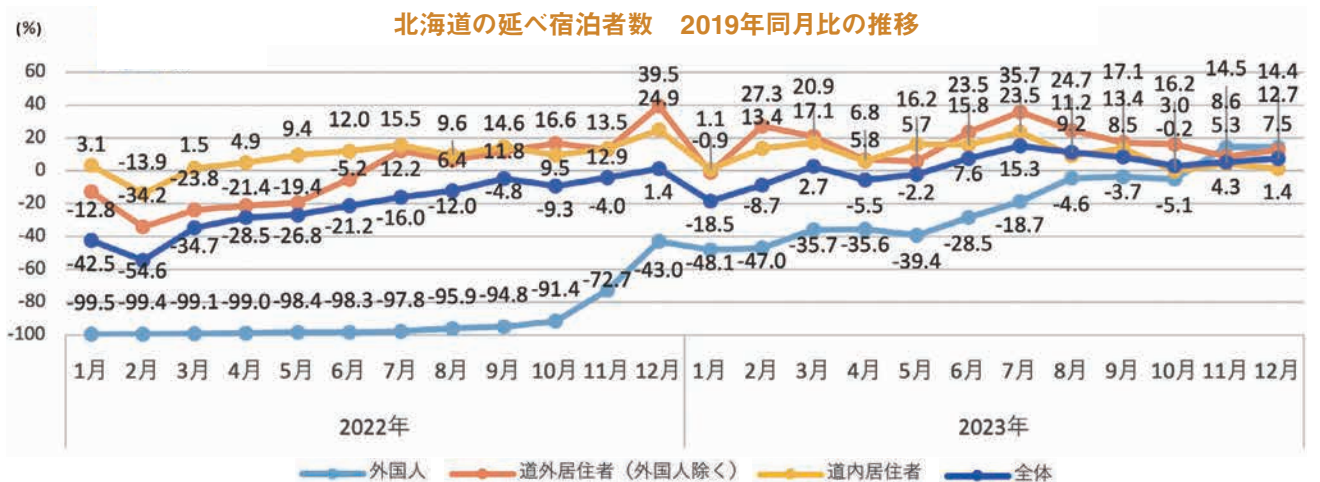
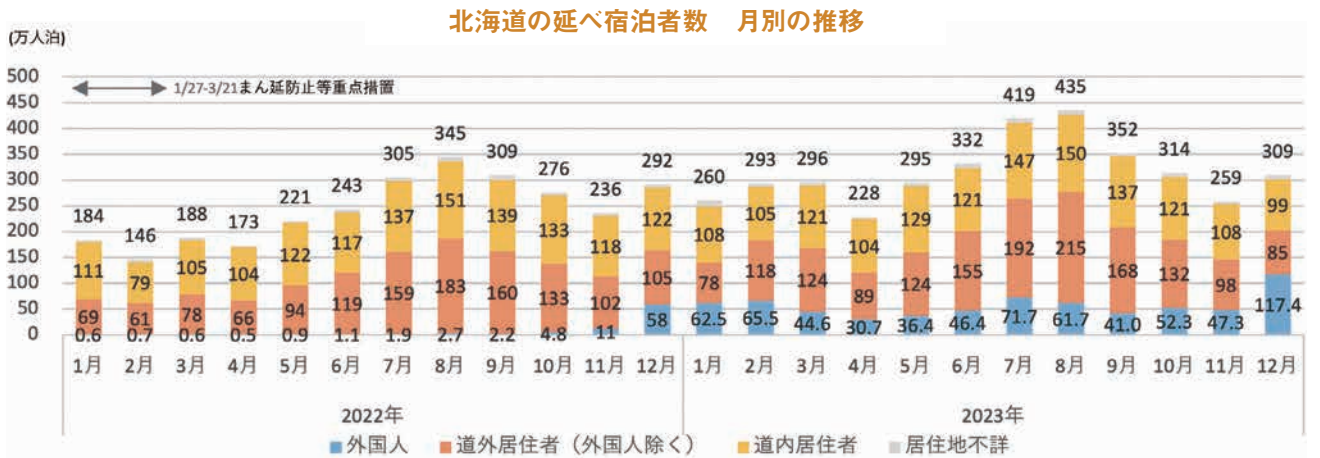
2023年10-12月

- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、10月は314万人泊(前年同月比+13.6%、2019年同月比+3.0%)、11月は259万人泊(前年同月比+9.8%、2019年同月比+5.3%)、12月は309万人泊(前年同月比+6.1%、2019年同月比+7.5%)であった。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、10月は262万人泊(前年同月比-3.6%、2019年同月比+4.8%)、11月は211万人泊(前年同月比-5.8%、2019年同月比+3.5%)、12月は192万人泊(前年同月比-17.7%、2019年同月比+3.7%)であった。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、10月は52万3千人泊(前年同月比+999.9%、2019年同月比-5.1%)、11月は47万3千人泊(前年同月比+319.6%、2019年同月比+14.5%)、12月は117万4千人泊(前年同月比+100.7%、2019年同月比+14.4%)であった。
- 10-12月の日本人延べ宿泊者数は、昨年対比で3ヶ月連続で下回ったが、外国人延べ宿泊者数を含めた延べ宿泊者数全体では、昨年を上回った。
- 外国人延べ宿泊者数は、2019年11月、12月対比では11月+14.5%、12月+14.4%となり、コロナ禍前の実績を初めて超えた。

延べ宿泊者数データ(2023年12月第2次速報)

(単位:人泊)

	北海道			全国		
	全体	日本人	外国人	全体	日本人	外国人
2023.12	3,092,380	1,918,230	1,174,150	50,735,030	38,432,530	12,302,500
2019同月比	+7.5%	+3.7%	+14.4%	+7.6%	+1.3%	+34.0%
前年同月比	+6.1%	-17.7%	+100.7%	+7.8%	-6.7%	+109.3%



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとにHTO作成
注1:2023年1月~12月は速報値。

来道者輸送実績

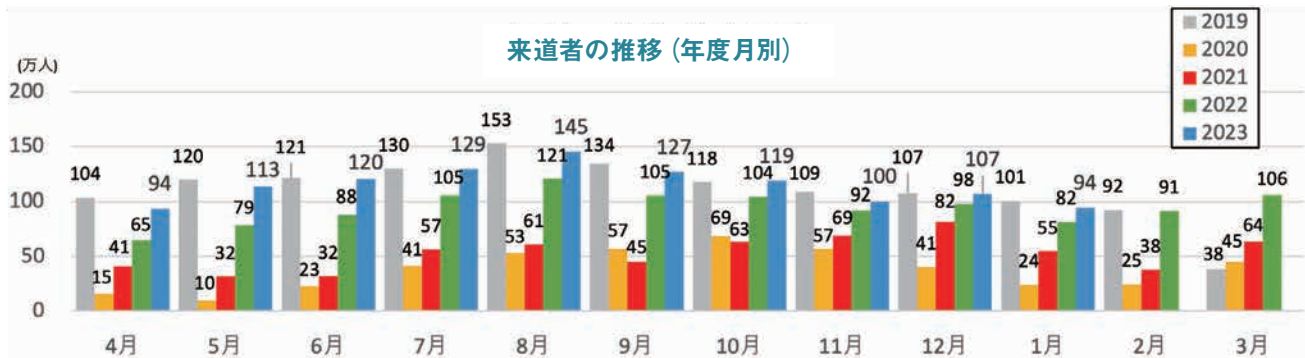
2024年1月

- 2024年1月の来道者数は94万人となり、前年同月比+15.8%であった。
- コロナ禍前の2020年1月対比で-63,628人、93.7%となった。
- 944,464人はコロナ禍以降の1月としては最多となったが、2020年対比でフェリーは100%を超えたものの、航空機、JRは90%前半となり全体で-63,628人(93.7%)と減少した。過去1月は年間を通じて来道者数が少ない月となる傾向にあり、同様の結果となった。
- 発地空港別の来道者数は、関東が54万8千人と全体の64%を占め、次いで関西14万8千人(17%)、名古屋5万1千人(6%)、東北4万2千人(5%)、九州・沖縄4万人(5%)となった。
- 着地空港別の来道者数は、新千歳・丘珠が70万2千人と全体の82%を占め、次いで函館4万4千人(5%)、旭川4万2千人(4%)、帯広2万3千人(3%)、釧路1万7千人(2%)、女満別1万6千人(2%)となった。

来道者輸送実績(輸送機関別)

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
2024.1	944,464	853,646	45,900	44,918
2020同月比	-6.3%	-6.6%	-8.7%	+2.8%
前年同月比	+15.8%	+15.7%	+16.8%	+15.4%



来道者輸送実績(発地空港別)

(単位:人)

	東北	関東	北陸・信越・東海	名古屋	関西	中国・四国	九州・沖縄
2024.1	42,926	548,965	13,702	51,001	148,072	8,269	40,711
2020同月比	-13.5%	-9.4%	-5.6%	-11.5%	+6.2%	-23.0%	+11.7%
前年同月比	+14.4%	+16.0%	+10.9%	+6.0%	+17.6%	+35.5%	+17.5%

来道者輸送実績(着地空港別)

(単位:人)

	新千歳・丘珠	函館	旭川	帯広	釧路	女満別	稚内	紋別	中標津
2024.1	702,413	44,973	42,077	23,721	17,799	16,386	1,467	2,533	2,277
2020同月比	-5.8%	-10.4%	-5.2%	-13.0%	-11.2%	-14.0%	-16.5%	-25.1%	-16.8%
前年同月比	+15.6%	+13.9%	+26.2%	+11.1%	+20.0%	+16.6%	-19.7%	-4.2%	-4.3%

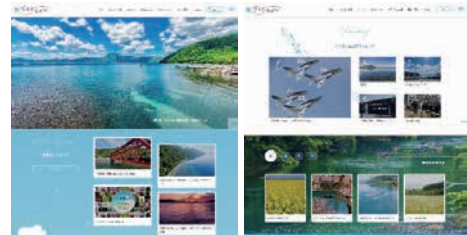
出典:「HTO来道者輸送実績調査」をもとに作成 1月1日令和6年能登半島地震 1月2日羽田空港航空機事故

今号の注目!

HTO「HOKKAIDO LOVE!」サイトとのデータ連携で集客力UP!!

HTOでは、自治体や観光協会、DMO等で保有している「観光スポット」「イベント」データを北海道公式観光サイト「HOKKAIDO LOVE!」側で受ける仕組みを構築することで、データ連携による観光DXを推進しています。

集客力のある「HOKKAIDO LOVE!」サイトとの連携により、地域の情報が表示されることに大きなメリットがあり、HTO側は、地域独自でメンテナンスした情報を自動収集し、タイムリーに更新できることで常に新鮮さを保つことができる、メリットのある仕組みです。詳細は、マーケティング部までお問い合わせください。



道内2例目となる千歳観光連盟(地域連携DMO)観光サイト

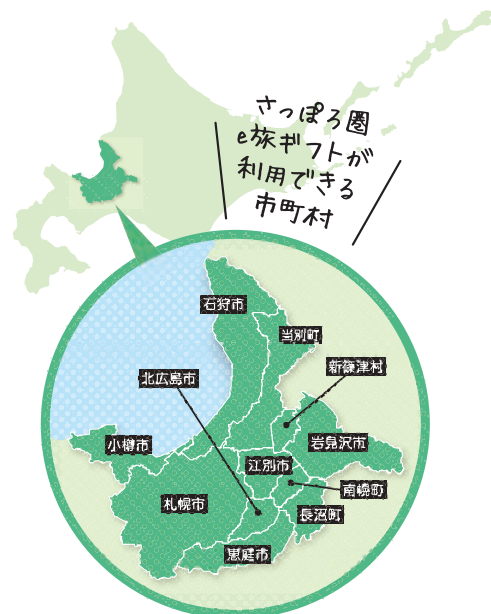
2024年2月1日スタート!

「さっぽろ圏e旅ギフト」の発行を開始

～北海道初! さっぽろ圏11市町村で「旅先納税®」を導入し、共通返礼品として電子商品券を発行～



共同記者会見の様子



HTOは、さっぽろ連携中枢都市圏内の11市町村(札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町)と連携し、「旅先納税®」および「さっぽろ圏e旅ギフト」の取り組みを2月1日よりスタートしました。

「旅先納税®」および「さっぽろ圏e旅ギフト」は、株式会社ギフトィが提供する「e街プラットフォーム®」を採用し、旅行者等が旅行前・旅行中にふるさと納税を行うと、返礼品として電子商品券(名称: さっぽろ圏e旅ギフト)がお手持ちのスマートフォンに即時発行され、エリア内の加盟店で利用できるサービスです。

今回の「旅先納税®」は、複数の自治体が広域で連携し共通の返礼品を発行する仕組みを採用しており、2022年11月に開始された京都府北部7市町での「旅先納税®」に続き、全国で2例目となり、北海道では初となります。



HTOは、周遊観光の促進によるさっぽろ連携中枢都市圏の地域経済活性化のため「旅先納税®」および「さっぽろ圏e旅ギフト」の導入により、観光関連事業者とともに旅行者の皆様へ新しい旅のスタイルを提供してまいります。



「さっぽろ圏e旅ギフト」の概要

- ① 入手方法：11市町村へのふるさと納税の共通返礼品として発行
- ② 寄附金額：10,000円から最大3,000,000円まで（各市町村により異なります）
- ③ 返礼率：寄附金額の30%を電子商品券「さっぽろ圏e旅ギフト」として返礼
- ④ 利用施設：11市町村内の加盟店（宿泊施設、飲食店、アクティビティ等の事業者）
- ⑤ 利用期限：寄附いただいた日の180日後
- ⑥ その他：さっぽろ圏11市町村に在住されている方は本事業によるふるさと納税は行えません

HTO公式サイト <https://www.visit-hokkaido.jp/etabigift/>

詳細・ご登録は
右の二次元コードから
さっぽろ圏e旅ギフト公式HP
<https://www.visit-hokkaido.jp/etabigift/>



旅先で訪れる、さっぽろ圏11市町村のいずれかにスマートフォンからふるさと納税すると、返礼品として寄附額に応じて発行される電子ギフトです。さっぽろ圏11市町村の加盟店ならどこでも利用することができます。



旅先からスマートフォンで「さっぽろ圏e旅ギフト」に登録。



市町村を選び寄附金額を決めてお支払い。



発行された電子ギフトを加盟店で使用。



翌年の所得税・個人住民税から全額が控除。

さっぽろ圏e旅ギフトの使い方

さっぽろ圏e旅ギフトはさっぽろ圏11市町村共通の電子ギフトです。11市町村内の加盟店なら1円単位から利用できます。決済もスマートフォンに電子スタンプを押印または二次元コードをスキャンするだけなので簡単です。



ふるさと納税をするとその場で電子ギフトが発行されます。



加盟店で利用金額を入力して電子スタンプを押印、又は二次元コードをスキャンし利用金額を入力することでお支払いができます（店舗により異なります）。



宿泊施設や飲食店、アクティビティを上手く組み合わせて周遊できます。

さっぽろ圏e旅ギフト加盟店募集中!!

さっぽろ圏e旅ギフトを利用できる施設を募集しています。※対象：宿泊施設、飲食店、体験観光
加盟店登録をいただくと、納税者がe旅ギフトを使えるようになり、集客アップにつながります。今なら初期費用が無料で開始いただけます。詳細は、マーケティング部までお問い合わせください。

新しいCI(コーポレートアイデンティティ)を制定 ～HTOの取り組みを皆さまにわかりやすく発信していきます～

HTOは、このたび新しいCI(コーポレートアイデンティティ※)を制定しました。国内外で広く活動することをふまえ、英文の頭文字HTOをシンボルとしたロゴタイプに変更します。

観光は、飲食や宿泊はもちろん医療までも含むさまざまな産業のまとまりである。観光は、旅行者だけのものではなく、地域の暮らしとつながっている。観光は、これからも時代とともにその意味を変えていく。

観光という言葉にとらわれると、見えない観光がある。

HTO
HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION
北海道観光振興機構

HTO

HOKKAIDO TOURISM ORGANIZATION
北海道観光振興機構

背景・目的

HTOは、広域連携DMOとして北海道観光の中核的機能を果たしていくため、様々な改革に取り組んでいます。更にこの改革を加速させ、中長期的な観点からこれらの取り組みを内外に発信するメッセージの旗印として、CIが必要と考えています。

具体的施策

わたしたちの存在意義、**なんのためにあるのか(Mission)**、**これからどこを目指すのか(Vision)**、**いまなにをすべきか(Concept)**、それぞれについて新たに明文化しました。観光は北海道の総合産業であるとともに多様な業種の集合体であること、ハワイのような海外有数のリゾート地を目指すこと、そして観光は地域課題を解決する力があるとの確固たる想いをCIに込めて、しっかりと幅広く発信してまいります。



※CI(コーポレートアイデンティティ)・・・企業や団体が企業行動および経営理念の内部統一をはかり、社会にもそれを認知させるコミュニケーション活動のこと

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

総務部

北海道庁に対し令和6年度・北海道観光に関する提案・要望を実施

12月19日、北海道庁知事会議室において、鈴木知事に対し令和6年度の北海道観光に関する提案・要望等を行いました。小金澤会長のほか、唐神副会長、清水副会長、平島副会長、中村専務理事が出席し、要望書を手交した後、今後の北海道観光について意見交換を実施しました。



マーケティング部

ここからはじまるケア・ツーリズムセミナーを開催

2月21、23日の2日間、医療従事者・介護従事者・障がい当事者とそのご家族等関係者を対象にしたオンラインセミナーを開催しました。セミナーでは、「旅は最高のリハビリである」の考えのもと、金沢医科大学リハビリテーション科医師 田邊氏や保険外サービスを提供する看護師道下氏からリハビリテーション/レスパイトケア・ツーリズムの概要説明や北海道での可能性について講話をいただきました。



マーケティング部

令和5年度北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業報告会を開催

3月6日、道内外観光客及び外国人観光客の属性や道内旅行実態、旅行の満足度と観光産業経済効果等の調査・分析を行う「北海道来訪者満足度・観光産業経済効果調査事業」の報告会を開催、リアル、オンライン合わせ約60名が参加しました。旅のスタイルやトレンド、旅行意識などコロナ禍前と比べ変化している項目や、今年度から4年ぶりに調査を復活したインバウンドの旅行形態の特徴などを中心に報告がありました。HTOでは、今後も、会員の皆様へ観光施策の企画立案に役立つ情報を発信してまいります。



AT推進部

アドベンチャートラベル冬季FAMツアーを実施

欧米のアドベンチャートラベル(AT)メディアを対象とした北海道FAMツアーを実施しました。第1弾は1月15日～1月19日にアイヌ文化をテーマにした平取～白老～登別コース、第2弾は1月29日～2月2日に自然観察をテーマにした羅臼～網走～阿寒コースで実施し、合計7名のメディアの方に参加いただきました。参加いただいたATツアーをもとに欧米市場における媒体出稿やSNS配信などをいただくことで北海道ATの魅力を発信してまいります。



※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

プロモーション部(国内)

大都市圏で教育旅行説明会を開催

12月4日～7日の4日間、名古屋、大阪、横浜、東京で教育旅行説明会・相談会を開催しました。関東からの中学校が増加傾向にあることから、本年度は東名阪に加え9年ぶりに横浜で開催し、各会場には教員、旅行会社の教育旅行担当者が多数参加されました。北海道は教育旅行の好適地であることを積極的にPRし、盛況に終了しました。



プロモーション部(海外)

BtoB商談会「Japan Showcase(ロサンゼルス会場)」に参加

1月31日、JNTO主催で毎年人気のBtoB商談会「Japan Showcase(ロサンゼルス会場)」に参加しました。例年よりも参加者が多く、16テーブルに分かれて106名の旅行アドバイザーに対し8分間のプレゼンを実施。ロサンゼルスにレップ事務所を構えて1年半、北海道の認知度は高まり、「ゴールデンルートの次なる渡航先は北海道へ」という機運を盛り上げるきっかけとなる、実りのある商談会となりました。



プロモーション部(海外)

第33回国際MICEエキスポ(IME2024)に出展

2月15日、東京で開催された日本最大級のMICE商談会「第33回国際MICEエキスポ(IME2024)」に北海道MICE誘致推進協議会構成団体である9地域とともに共同出展しました。商談会では、MICE主催者や旅行会社、大手国際会議運営会社などの商談を実施し、道内の地域が広域連携し、地域の魅力的なMICEコンテンツを紹介しました。



プロモーション部(海外)

シンガポール最大級の旅行博NATAS TRAVEL 2024に出展

3月1日～3日の3日間、シンガポール最大級の旅行博NATAS TRAVEL 2024に出展しました。北海道からはさっぽろグローバルスポーツコミッション、千歳観光連盟、NEXCO東日本北海道支社、ポルトムインターナショナル北海道が参加。会場は、連日多くの来場者で賑わい、他国の旅行博に比べて、より詳細な観光情報を求める問い合わせやチケットを既に購入しており訪問する予定地の詳細を聞きたいとの質問も多くいただきました。北海道人気の高いシンガポールで、直接来場者に北海道の魅力を発信できる貴重な機会となりました。



地域観光部

北海道DO!MaaS 総括セミナーを開催

2月16日、HTOと北海道経済連合会では、今年度、国土交通省の補助金を活用した「交通と観光の共創による北海道MaaS構築人材育成事業」を実施してまいりましたが、今年度の取り組み成果を発表し、今後の展開に向けて共有を図る「北海道DO!MaaS 総括セミナー」を開催しました。セミナーでは「ワークショップでの成果発表」や「事例調査やフィールドワークの報告」が行われました。HTOでは、今後も、関係各所と連携して北海道MaaSの構築に向けて取り組んでまいります。



ワーケーション推進セミナーを実施

2月15日、魅力事業の重点支援項目の一つである「ワーケーション」について、令和3年度から3年間で振り返り、今後の方向性について考えるオンラインセミナーを開催しました。冒頭の講演では、(株)JTBの地域交流マネージャー鈴木守氏より「コロナ後もワーケーション需要は減っておらず、ニッチなマーケットであるが、ワーケーションの枠にとらわれず取り組んでいくべき」との話がありました。HTOからは、今後道庁で推進していく「北海道型ワーケーション」と連携し、企業向けPR等も重要であると方向性を示しました。



観光人材と多彩なゲスト講師が交流する研修・セミナーを開催

HTOでは、コロナ禍で観光業界の人材の多くが流出しインバウンドを含めた観光需要の回復に対応できる人材の数と質の向上が急務と考え、北海道観光の受入体制整備を推進する目的で、地域毎の課題に沿ったオーダーメイドの個別研修やワークショップを開催しました。今年度は、観光の3要素である「つくって、売って、受け入れる」をコンセプトに、「みんなで観光1UPセミナー」を道内12か所で12回実施し、延べ278名の方に参加いただきました。



HOKKAIDO LOVE!



北海道観光PRキャラクター

キュンちゃんグッズ

好評発売中!!

HTOでは、北海道観光PRキャラクター『キュンちゃん』グッズを販売しております。

キュンちゃん公式ネットショップでは、ぬいぐるみやクリアファイルなど様々なアイテムを取り扱っております。観光プロモーション等でノベルティ、景品としてご利用の場合は、**お得な会員価格**でご購入いただけます。



キュンちゃん公式ネットショップ

新商品も続々登場!



<https://kyunchanshop.official.ec/>

キュンちゃんグッズを販売していただける店舗も募集しております。

詳しくはマーケティング部までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

☎ 011-231-0941 (担当:大宮)

✉ kyunchan_ec@visithkd.or.jp

インバウンド位置情報データ、はじめました

HTOは今年度より「インバウンド位置情報データ(人流データ)」の収集を開始し、北海道の観光統計データ(DMP)に統合しました。会員の皆様に無料で提供される本データは、現状把握、課題抽出、戦略立案などに役立てていただけるものと考えています。本取り組みの特徴、利用の具体例など、順にご説明します。

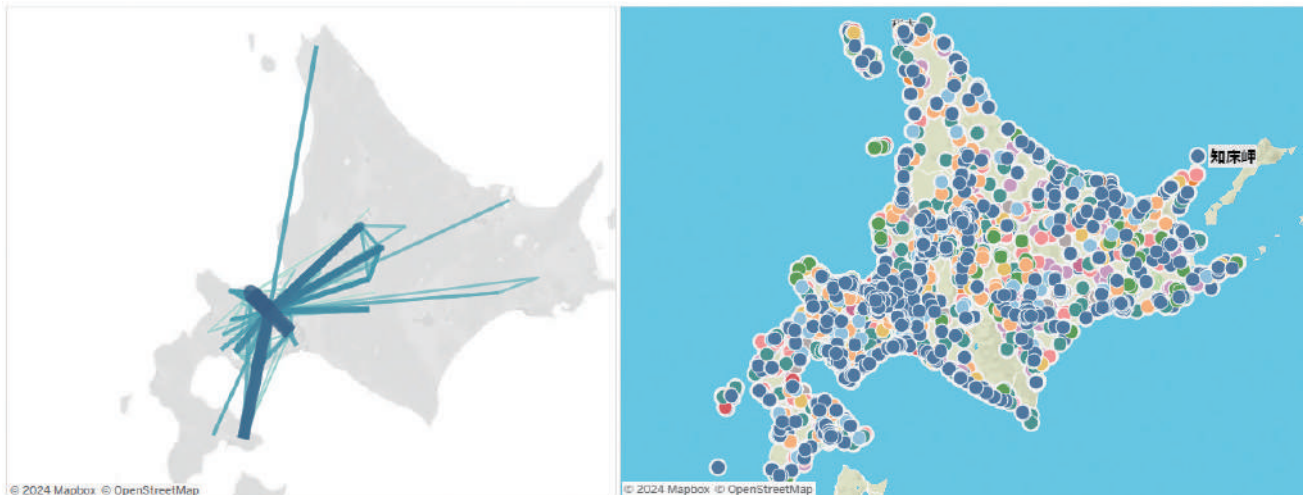
1.特徴

この取り組みの最大の特徴は、アクセスが容易であること。HTOの会員は、いつでも無料でインバウンド位置情報データを確認することができます。これにより、さらに効果的なマーケティング活動を行うことが可能となります。

※北海道の観光統計データ: <https://statistics.visit-hokkaido.jp/>

2.有効性

インバウンド位置情報データは、全道で約7,000箇所のスポットに加え、観光スポットだけでなく、JR駅、道の駅、サービスエリア、飲食店、ドラッグストアなども可視化され、現状把握や課題抽出に有効です。国・地域の方々がどこを通過しているのか、滞在しているのか分かるようになりました。自地域のデータを、全道データや隣接する地域データと比較することで課題抽出につながります。



3.利用の具体例

各種データを比較することで、現状がより具体的に見えてきます。図は2023年と2019年の来訪者属性(国・地域)、道央圏域データです。2023年の中国からの来訪は6.5%に対して、2019年は30.7%です。これまで感覚で捉えていた現状が具体的な数字で表されることに価値があります。

2023年



2019年



インバウンド位置情報データ、はじめました

また、どの国・地域の観光客が、あるエリアに平均何日滞在しているか、というデータも取得可能です(市町村別滞在状況)。例えば、2023年のデータで、札幌市内には観光客が平均2.7日滞在していることがわかります。2019年データと比較できるほか、欧米豪のデータに絞りアジア圏のデータと比較することもでき、現状把握が可能となります。

4.ご利用にあたって

インバウンド位置情報データは、有用ですがあくまで一つの参考データであり、EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング/証拠に基づく政策立案)など様々な活用方法で効果が高まります。北海道の観光統計データ上には、様々なデータが格納されていますが、例えば人流データと掛け合わせることで視界が広がるものとしては「外国人観光客:北海道からの交通手段」、「輸送機関別来道者数(会員向け)」などがあります。拙速に仮説を立てる前に、別の角度から補足できるデータがないか常にアンテナを張りたいところです。

今後、インバウンド位置情報データの分析により、北海道各地の現状把握、課題抽出が一層進み、適切な戦略・戦術が策定され、実行されることが期待できます。北海道の観光は、限られた資源(人的資源、予算など)を効果的に活用する必要があります。引き続き足りないデータを見極め、収集・分析し、北海道の観光を前に進めることで、HTOが目標として掲げている“ハワイ”に一步步近づきたいと思えます。

キュンちゃんの小部屋



NEW
キュンちゃんの新しい
アニメーションムービーが完成!

LINEでつながる北海道

キュンちゃんLINE公式アカウントで北海道を楽しむ編(15冊)
現在YouTubeで公開中!

キュンちゃんの新しい動画を配信しよう!
HOKKAIDO LOVE!
観光イベント情報はこちら▶

今月のプレゼント!
はてコグク(名産)に当たる!

詳しくはココ▶
HOKKAIDO LOVE! NEWS
キュンちゃんの旅ログ
プレゼント応募はこちら▶



HTO
LINE公式アカウント
北海道の旬な情報はこちらから!
お友達登録が35万人を突破
(※2024年3月現在)
キュンちゃんが道内各地を紹介中!!

北海道の観光案内所



どさんこ旅サロン
東京・東京交通会館3階

北海道さっぽろ観光案内所
JR札幌駅西コンコース北口

「どさんこ旅サロン」は、「北海道どさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にあります。(JR有楽町駅下車すぐ)

道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。


住所/東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館3階
営業時間/11:00~19:00
定休日/土・日・祝、年末年始、施設の全館休業日
問合せ/電話03-6206-3163

JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供いたします。また、HTO作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所/札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコース北口「北海道さっぽろ食と観光情報館」内
営業時間/8:30~20:00
※大晦日・元旦のみ19:00まで
定休日/年中無休
問合せ/電話011-213-5088

会員募集中!

入会申込みの詳細は、お問い合わせください。



■本レポートに関するお問い合わせ先
HTO(公益社団法人北海道観光振興機構)
マーケティング部
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階
TEL 011-231-0941 FAX 011-232-5064

総合商研には、地域PRに役立つアレがあります



▲北海道発掘マガジン「JP01」

北海道を愛する旅行リピーターたちに、情報が届く!〈地域情報誌〉

知られざる地元の魅力を発掘!



▲人気別冊版シリーズ「プチJP01」

北海道発掘マガジン [ジェイピーゼロワン] JP01

【媒体概要】A4判、100~132ページ、5万部、1月・7月・10月発行予定(4月休刊)、(道内配布場所)道の駅・高速道路SA/PA・レンタカー営業所・フェリーターミナル・ENEOS北海道エネルギーSS・一部の観光案内所・商業施設・公共施設・ホテル他(道外配布場所)どさんこプラザ・北海道東京事務所・一部の交通機関他

Petit JP01 市町村や広域圏の企画により制作します。JP01と同じく、地元の魅力を発掘した記事を広域に配布することが可能。ご相談ください。



札幌市民の8割超の世帯に、情報が届く!〈月刊情報誌〉

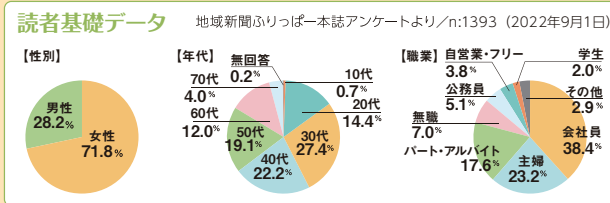


【媒体概要】A4判、32~40ページ、合計82.6万部、毎月第4火曜~金曜発行、市内戸別ポストイング配布(掲載内容は市内4エリアごとで異なります)

南版22.9万部

西版18.6万部

北東版23.6万部



白厚版 ▲ 17.3万部

暮らしに役立つクーポン満載!



JP01まつり in チカホ(1・7・10月開催予定) 札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場(西)

対面販売やPRに最適!当社グループ運営の〈イベント会場〉



まるまるひがしにほん(東日本連携センター) 6新幹線の結節点・JR東日本「大宮駅」東口徒歩1分



ふりっばーproduce OMOTASE-HONPO 札幌狸小路商店街3丁目 ムイクサッポロ1F

イベントや店頭で、来場者の記憶にわがまちのイメージを残そう!各種〈イベント資材〉



バックバナースタンド組立 99,000円(税別)~



ロールスクリーンバナー組立 25,000円(税別)~



のぼり(ボン地/チチ付) 2,000円(税別)~ ※付属品別



テーブルクロス 1枚20,000円(税別)~

この他、法被・Tシャツ・ユニフォームプリント等も承ります。